

平成23年度 甲賀市 予算

平成23年度の予算が市議会定例会で可決されました。
「総合計画の実現に向けた重点的かつ戦略的な財源配分
基本方針として予算を編成しましたのでお知らせします。

まちの創造へ ～市民と築く未来の創出予算～



甲賀市長
中嶋 武嗣

施政方針（要旨）

わが国の経済は、景気動向は緩やかに上向いているとされるなか、この春の新卒者の就職内定率が過去最低となつたことに代表される雇用不安や円高など、様々な要因が陰を落とし、実感としては不透明感が漂つております。國や眞の深刻な財政状況の改善まさにほんばらく時間要する」とから、その動向を注視しながら、当市としては強固な財政基盤を整え、現状課題や将来への備えのための施策を精査し、効率の高い行政運営を行うことが一層求められるものと考えております。

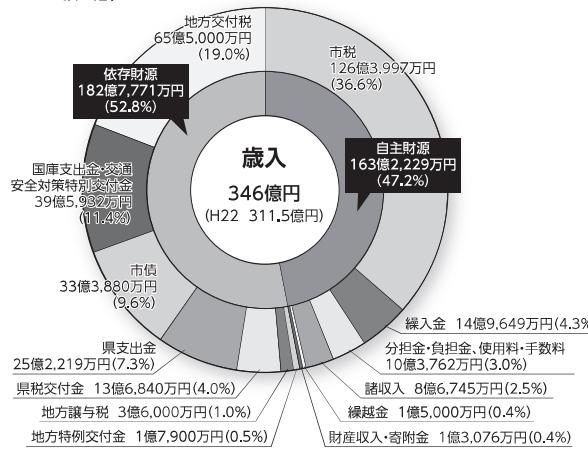
当市では、「歳入に見合った歳出」の徹底による経費の削減や、普通建設事業の優先度を考慮した計画的な実施さらに、

は、^ア「フライマーリー・バランスの黒字化と編上積減による市債残高の抑制」職員の定員適正化、特別職の給与や一般職員の管理職手当、全職員の期末勤勉手当の独自カットなどを実行してまいりました。同時に、企業説教後のアフターフォローのほか、市税や各種料金などの滞納を解消するために他市に先駆ける取り組みを行ないながら、歳入の確保にも努め、財政健全化に向けて、歩つて前進させてきました。この結果、主要財政指標において一定の改善がみられるなど、一時の最悪期から脱することができました。

しかしながら、平成23年度の予算編成時に当たっては、決して先行きを樂觀視するものではなく、将来に渡る持続可能な安定した財政基盤の確立を目指すということを基本に置き、引き続き「フライマーリー・バランスの黒字化を堅持しつづけ、慎重に見積もった財源で最大の効果を引き出すよう熱慮を重ねたものです。

支援体制を整えるとともに、改めて「甲賀市総合計画」の実現に向けた総合的な施策について議論し、着手していく時期を迎えたとの認識のもとに、市の将来像の実現のため、6つの重点テーマを掲げ、市民満足度を高め、甲賀市発展の礎となる施策をすりながら限られた財源を重視的かつ戦略的に配分しました。

引き続き、「これまでの行財政改革を緩める」となく着実に継続させながら、市民の暮らしと安全安心を重視し、総合計画が定める将来像へ自然・輝き続けられる「あい甲賀」の理想像の実現へ向けて、加速させる年とし、新年度予算を「市民と築く未来の創出予算」と位置づけ、高い事業効果を希求してまいります。
……………



- ・**自主財源**……市が自主的に収入することができるもの
- ・**依存財源**……国や県の意志決定に基づき収入されるもの
- ・**義務的経費**……市の歳出のうち、その支出が任意に削減できない経費
- ・**投資的経費**……道路、橋・公園、学校の建設等社会資本の整備に要する経費

